

やすらぎ 短信

平成 29年
8月号

「稔り」への「祈り」

今月より大きな

お祭りが続きます。

八月二十六日〜二

十七日には夏季み

こし祭、九月二十日

には秋季例大祭を斎行致します。浦幌神

社でも豊作・豊漁・豊緑の「稔り」を祈

るお祭りが開拓以来続いて参りました。

この「稔り」という言葉には、先人の「祈

り」が込められております。「稔」の字

は、「禾」+「念」からできています。「禾」

(のぎへん)は穀物一般の総称、稲を意

味します。「念」は、念願する、望むこ

とを意味します。この言葉には、稲(穀

物)の成熟を念願することが、稔りにつ

ながるといふ信仰が込められています。

古来より「稔り」への「祈り」を大事に

してきたのが日本人なのです。



夏季みこし祭のご案内

今年の夏季みこし祭の当番区は、幸

町・寿町・末広町・帯富の四町内です。

去る七月二十四日には、役員総代、協力

者団体全体の会議が開催され、本番へ向

けて準備を進めております。二十六日に

は、宵宮祭と余興、

翌二十七日は、本祭

と神輿渡御を例年

通り行います。皆様

のご協力を賜り、み

のりあるお祭りを

斎行致したく存じ

ますので宜しくお

願い致します。



八月二十六日(日)

宵宮祭 午後五時

余興 午後一時〜午後九時

・カラオケ大会(プラスハート笑み他)

・民謡(浦幌錦玉会)

・コーラス(浦幌サロココーラス)

・お楽しみ抽選会

・空手道演舞(浦幌町空手道連盟)

・チアリーダーズ(みらくるビーンズ)

・町内対抗玉入れ大会

・こども玉入れ大会

(中央公民館)

八月二十七日(日)

本祭 午前七時三十分

渡御 午前八時〜午後五時

・本神輿(浦幌三五四會)

・子供神輿(幼児・小学一〜四年生)

・獅子(浦幌開拓獅子舞保存会)

・山車(藤友会)

・千人踊り(浦幌千人踊りの会)

・神楽舞(浦幌神社神楽舞月姫会)

(浦幌町一円)

宮司の一筆

子どもたちが楽しみにしている夏休み。親戚が来たり、お出かけをしたり、お泊りをしたり等々楽しい事が盛り沢山なのだが、学校がない分、時間を持て余して家でゴロゴロしてしまい、母親の「雷」が落ちるのも夏休みである。万度にかまってあげられない父親としては、日頃、授業をして頂き、美味しい給食も頂き、熱心に教育をして頂いている学校の存在に改めて感謝する夏休みでもある。先日、我が子がテレビゲームをやり過ぎないように、卓球セットを購入した。家庭の机を代用し、ネットを張って卓球ができるものだが、意外に子どもたちは、これに食いつき、毎日、笑い声を上げて仲良く遊んでいる。子どもは遊びの達人である。どんな道具でも自分たちでルールをつくり、遊ぶ喜びを共有できる。テレビゲーム等、家族や友達と喜びを共有できない道具ばかりを与えているのは大人であると卓球をやりながら感じた。

伝統芸能鑑賞と流し素麺

去る七月二十三日、うらほろ和ごころ体験塾主催による「伝統芸能鑑賞と流し素麺体験」が境内で行われ、約百名が参加致しました。伝統芸能鑑賞では、今年二十五周年を迎えた「さらべつかしわ太鼓保存会」の力強い和太鼓と地元「浦幌錦玉会」の民謡・三味線の演奏を鑑賞しました。また、恒例の流し素麺では、三十二メートルの台に流れる素麺を楽しみながら味わいました。



浦幌錦玉会



さらべつかしわ太鼓保存会



流し素麺の様子

●浦幌神社秋季例大祭のご案内

日時 九月二十日午後六時

余興 剣道・空手道・神楽舞他

※どなたでも自由にご参列できます。

●秋季乳神神社祈願祭のご案内

日時 九月二十一日午前十一時

(受付午前十時三十分より)

願 種 子授け祈願 安産祈願

病氣平癒祈願 健康祈願

縁結び祈願 その他

※玉串料三千元よりお気持ち

浦幌神社行事予定

八月一日 月次祭

八月十五日 月次祭

戦没者慰霊祭

八月二十六日 夏季みこし祭宵宮祭

八月二十七日 夏季みこし祭本祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八